

議案質疑・一般質問の内容及び答弁予定者

議案に対する質疑

【12月6日】

平成19年12月定例市議会

発言議員	議案件名・要旨	答弁者
7番 島村 勉議員	1. 議案第71号 羽生市部設置条例の一部を改正する条例について <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の組織改正の意義はどのようなものか。 ・ 廃止した部（水道部）・課（シルバー福祉課）と新設した部（まちづくり部、学校教育部、生涯学習部）・課（地域振興課、収納課、子育て支援課、スポーツ振興課）について、そのねらいとするところを伺いたい。（特にまちづくり部について） ・ また、市長は自らのマニフェストにおいて、職員数の削減を掲げ、それを実行しているところであるが、組織の数を増やすことは、人を増やすことにつながる。職員削減計画や指定管理者・外部委託の推進との関係をどのように考えているか伺いたい。 	① 市長 ② 企画財政部長
11番 小野幸夫議員	1. 議案第71号 羽生市部設置条例の一部を改正する条例について	企画財政部長
1番 中島直樹議員	1. 議案第71号 羽生市部設置条例の一部を改正する条例について <ul style="list-style-type: none"> ・ 収納課の設置についての質疑 三位一体の改革によって地方自治体の財源の確保は大きな課題になっている。11月に総務文教委員会にて視察した高知県香美市の収納管理課においては、悪質な滞納者については財産の差し押さえや訴訟も視野にいれ、税金や利用料の徴収にあたっている。収納課が設置されてもうまく機能しない自治体が多くある中で、羽生市の収納課が今後どのような姿勢で、市税、利用料、保険料などの徴収を行っていかようとしているのか。市長にその意気込みを伺いたい。	市長
10番 藤倉宗義議員	1. 議案第71号 羽生市部設置条例の一部を改正する条例について <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援課の設置は喜ばしいことですが、シルバー福祉課の名称が消えることによって市民にとまどいができる。保健医療課という名称からは、高齢者の窓口ということを連想しがたい。高齢者のこともやっているということのわかる名称にすとか、少なくとも窓口には、一目でわかる工夫が必要ではないか。また、統合によって高齢者福祉をより充実させるものにしなくてはならないと思うがどうか。 2. 議案第73号 普通財産の減額貸付について <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ振興のため、大変よいことだと思うが、賃料の固定資産税・都市計画税の1/3の金額はいくらか。5年経過後の軽減はどうするのか。 ・ 管理はどのように行っていくのか。 	企画財政部長 #
9番 齊藤 隆議員	1. 議案第68号 平成19年度羽生市一般会計補正予算（第5号）について <ul style="list-style-type: none"> ① 農業費・農業委員会一般経費20万円について <ul style="list-style-type: none"> ・ 普及啓蒙活動の具体的方法について ・ 前年度同事業の効果及び今年度想定効果について ② 同・用排水路改修事業100万円について <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事内容及びその効果について 2. 議案第69号 平成19年度羽生市介護保険特別会計補正予算（第3号）について <ul style="list-style-type: none"> ① 包括的支援・任意事業1,345,000円について <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容及び想定する効果について 	② 経済環境部長 ③ 市民福祉部長